

17 「広報いせ」特集記事制作プロジェクト

自ら動いて、見て、聞いて、知る。

プロジェクト発足当時は伊勢市をメインとして活動をしてきたため、伊勢市のことを中心に考え、学ぶことが多くありました。最近では南勢地域の市町との広報誌合同特集があったりと、伊勢市以外の地域について考え、学ぶことも増えてきています。

メンバー数：5名
活動場所：伊勢市
実施主体：伊勢市情報戦略局広報広聴課
担当教員：池山敦（教育開発センター）
活動年度：H30, R01, R02, R03, R04, R05



1年の活動まとめ・考察（成果と課題）

今年度はかなり精力的に活動させていただくことができました。活動に対しても非常に意欲的なメンバーも増え、いい体制を作れていたと思います。新年度一回目の活動は6月からでした。これは伊勢志摩定住自立圏の8市町合同の記事の作成のため、行政の皆さんによる関係各所との調整があり、前年度に比べ少し遅れたスタートになりました。ですが、このご尽力があったからこそ、私たちは今までの伊勢市内から外へと飛び出し他市町での取材を行うことができました。伊勢市だけでは知りえなかったことや、8市町がどのように関係を構築し協力しているのかを知ることができました。

取材の内容については市民の皆さんへの自転車に対する意識向上のためのものでした。マナーやルールについて語るのと同時に楽しく自転車を活用してもらうために観光名所を巡り、記事に活かすことになりました。学生も自転車に乗る姿を撮影していただいたりと精力的に活動させていただきました。今年度は学校給食についての取材も行わせていただきました。直接調理士の方にお話を伺い、その上、実際に給食センターで見学もさせていただくこともできました。我々学生としても数年前までお世話になっていた給食について、懐かしさを感じつつ、市内の皆さんがあまり知らない学校給食の裏側をお届けできる記事になりました。

前年度に比べコロナの脅威も少なくなり、取材させていただいた際にお話を伺った方や自分たち自身の表情もはつきりとわかるようになりました。このおかげで取材の際の雰囲気の向上や話しやすさにつながったと思います。

今年度は特に様々な方にお世話になった一年だったと感じます。精力的にこの活動を行えたことは、実施主体様と担当教員、大学、そして伊勢市内だけでなく定住自立圏内の皆様のサポート故に感じています。感謝の気持ちを忘れず、来年度も活動していきたいと思っています。

月別活動

- 6月19日 キックオフミーティング
- 7月 5日 特集記事打ち合わせ
- 8月18日 紙面レイアウト確認
- 9月11日 鳥羽市にて取材
12日 志摩市、南伊勢町にて取材
14日 伊勢市にて取材
- 10月10日 校了前確認
- 11月17日 特集記事打ち合わせ
- 12月 6日 調理士の方への取材、写真撮影
- 1月12日 校了前確認



活動を通して学んだこと

地域の土地としての魅力だけでなく、地域の皆さんの魅力を伝えるため色々な視点から物事を俯瞰してみることで、豊かな表現で伝えることができる力を学べたと思います。その中で、多くの人と関わるため、コミュニケーション能力はもちろん、社会人基礎力を育めたことと実感します。また、地域がどのような考えで市政を行うのかなども知ることができたと思います。

実施主体からのコメント

伊勢市情報戦略局広報広聴課
ご担当者様

私たちは、様々な情報をSNSやウェブサイトを通じて、容易に入手できるようになりましたが、全世帯に配布される「広報いせ」は市政情報や地域情報を市民に伝える重要な媒体の一つです。「広報いせ」を多くの人たちに手に取ってもらい読まれるものにするため、特定のテーマを掘り下げて伝える「特集」は、大きな役割を担っています。その「特集」に若者の視点を取り入れ読者層を広げたいという思いから、「特集」の紙面制作を平成31年度から皇學館大学「広報いせ特集記事制作プロジェクト」の学生の皆さんと連携して取り組んでいます。本プロジェクトは、早くも5年目を迎えます。これまでに15本の特集を制作し、学生の皆さんは真摯かつ楽しむ形で制作に取り組んでくれています。今年度は、定住自立圏内の自治体と共同で「自転車」をテーマにした特集を制作しました。この特集では、学生の皆さんが市内外の取材に積極的に参加し、学生の視点から各市町の魅力を紹介したことで読みやすい「特集」をつくることができました。今後も学生の皆さんと連携しながら、市民から愛される「広報いせ」をつくり続けていきます。

担当教員より

教育開発センター 池山 敦

今年は「自転車」「給食」と私達にとって身近なものを別の視点から見直す事ができたのではないのでしょうか。物事には必ず多面性があります。サービスを受ける側の視線、サービスを提供する側の視点、というように、他者の視点に立つことは非常に重要だと思っています。そのことにより、自身の立場をより改善することもできるでしょうし、他者に共感することもできると思います。「自治体」「広報」という視点から地域社会を見る、この活動が今後も実り多い物になることと思います。

📢 こんな人におすすめ！

- ・伊勢志摩地域で活動したい人
- ・情報発信について興味がある人
- ・様々な人との関わりを持ちたい人
- ・社会人基礎力を育てたい人

成果物 / 制作物

